

各位

上場会社名 株式会社 岡山製紙
代表者 代表取締役社長 津川 孝太郎
(コード番号 3892)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 高野 佳典
(TEL 086-262-1101)

第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年7月14日に公表した2023年5月期第2四半期累計期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年6月1日～2022年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,500	350	380	266	53.33
今回修正予想(B)	5,426	286	327	225	45.12
増減額(B-A)	△73	△63	△52	△40	
増減率(%)	△1.3	△18.2	△13.8	△15.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年5月期第2四半期)	5,067	423	456	315	63.32

修正の理由

2023年5月期第2四半期累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症はウイズコロナの社会経済活動への移行が進む中、国内景気は緩やかに持ち直し、段ボール原紙を中心とした板紙の需要も概ね堅調に推移しました。当社板紙事業においては得意先の構成の変化等により、販売数量が前年同四半期比3.3%減少したものの、前期に実施した製品価格改定が一定程度浸透したことにより、売上高は概ね予想数値並みとなる見込みです。他方、利益については、板紙の原材料である古紙の価格の高止まりと主要な燃料であるLNGの価格高騰を受け、予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、2023年5月期通期の業績予想につきましては、上述の状況を受けて2022年10月に実施した板紙製品価格の改定が利益に寄与することを見込んで、2022年7月14日に公表した予想から変更しておりません。

(注)本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上